

款	2 総務費	項	7 地域活性化交付金事業費	最終予算額	決算額
		目	1 きめ細かな交付金事業費	12,000千円	0円
担当課決算額				12,000千円	0円
<p>○農村社会基盤整備事業 12,000千円 老朽化した農業用施設の補修工事を行い、農業生産基盤整備を促進します。 農村社会基盤整備事業測量設計業務委託料 1,000千円 農村社会基盤整備事業工事 11,000千円 H23年度へ全額繰越 実施予定箇所:杉下、三保、金屋、矢下、別宮 等</p>					
款	2 総務費	項	9 きめ細かな臨時交付金事業費	最終予算額	決算額
		目	1 きめ細かな臨時交付金事業費 (繰越明許)	16,500千円	15,400千円
担当課決算額				16,500千円	15,400千円
<p>○きめ細かな大父木地親水公園環境整備事業 1,381千円 大父木地親水公園上水道接続工事費 1,381千円</p> <p>○きめ細かな農村社会基盤整備事業 14,019千円 農村社会基盤整備事業測量試験委託料 840千円 農村社会基盤整備事業工事請負費 13,179千円</p> <p>「成果」 維持管理能力が低下した農業用施設を補修することにより農村の社会基盤を整備し、農村社会の安心と安全に寄与しました。</p>					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	2 農業総務費	22,267千円	22,019千円
担当課決算額				22,267千円	22,019千円
<p>○人件費 14,248千円 一般職2名</p> <p>○農業総務一般事務 114千円 旅費・需用費 42千円 とっとり大地と海のフェスタテント使用料 15千円 各協議会等負担金ほか 57千円 農業農村振興部会 2,000円 山村関係振興部会 55,000円</p> <p>○農業研修施設・広場管理 4,068千円 農業研修施設、農村公園などの維持管理費 大父木地親水公園 742千円 水辺公園 500千円 逢東農村公園 142千円 八橋農村公園 371千円 白鳳館 913千円 船上山休憩所 240千円 公用車4台の管理費等ほか 1,160千円</p> <p>「成果」 町有施設の管理を行い、町民に快適に利用してもらえる環境を保ちました。 「課題」 施設の指定管理、庁内での管理担当課の統一など、管理の効率化が必要。</p>					



○農業後継者育成対策事業(町単独分) 1,290千円

・農業後継者育成対策結婚祝報償金 100千円

結婚した農業後継者に報償金を交付し、農業への意欲の高揚と、農業を担う若い農業者の結婚を促進し地域の活性化を図りました。

平成22年度交付対象者 1組

・新規就農者定住促進交付金 1,100千円

長期定住の意思を持って新規に就農した者に対し交付金を交付し、農業振興の新たな担い手の育成、支援を行いました。

平成22年度交付対象者数 11名

(内、新規交付対象者数 5名)

・青年会議活動補助金 90千円

農業青年会議の活動経費の助成を行い、農業に対する理解を深めるとともに、農業青年同士の交流を図りました。

主な活動内容:定例会、県外視察、水稻作研修(100a)、農協・県等の農業祭への参加

「成果」 琴浦町の今後の農業を担う若者たちの支援ができました。

「課題」 なし

○琴浦町農業漁業指導協議会活動育成事業 70千円

町内の農林水産業関係団体で組織した本協議会において、定例の幹事会及び専門部会において、関係機関の連携及び課題解決を図るため、研究・提言を行いました。

構成団体:町・農委・JA・県(普及所・大乳・改良区・漁協・県芝)

・全体会及び幹事会 11回

・専門部会 11回(5部会)

・講演会 1回

・耕畜連携調整会 1回

「成果」 農業漁業関係団体で、情報交換やテーマに沿った研修を行いました。

「課題」 町内の農業漁業関係団体が集まる重要な組織をさらに充実させること。

○各種農林融資資金利子補給事業 1,079千円

農業用施設及び機械整備のための資金、運転資金等を借りた農業者に利子補給支援しました。

資金名	件数	利子補給額
農業近代化資金	5件	53千円
果樹等経営安定資金	54件	508千円
家畜飼料特別支援資金	19件	518千円

「成果」 資金利子を助成することにより、借入農家の経営安定に寄与しました。

○鳥取県農山漁村生活体験事業 1,150千円

農林水産業や農山漁村等に関心を持つ県外に在住する若者等が、試験的に農林水産業を体験しながら農山漁村地域に滞在することを支援し、地域の活性化を図りました。

・新規就農者住宅修繕工事 140千円

ドア取替え工事、ガス給湯器取替え工事、洗濯用水栓修繕工事

・新規就農者住宅に係る借地料 1,010千円

土地の所有者(3名)に対する借地料を支払いました。

「成果」 新規就農者の定住を支援することができました。

「課題」 建物の老朽化が進んでいるため、今後どのように対応していくか検討が必要。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	3 農業振興費	119,865千円	119,016千円
担当課決算額				119,865千円	119,016千円

○人件費 13,606千円
一般職 2名

○農業振興対策事業 7,606千円

・指導農業士支援事業 68千円

鳥取県知事の委嘱した東伯地区農業士会の年会費(指導農業士4名)を負担しました。

・ブロッコリー定植機導入 1,785千円

春先の梨の低温被害対策として、梨以外の作物から収入を得るために定植機を2台導入、貸付けしました。8月からの利用で、通算360aで利用しました。

・梨低温被害対策支援事業補助金 2,800千円

春先の梨の低温被害対策として、次年度以降の営農に繋げるために、PR用資材と堆肥を補助しました。

販売促進 ポスター	600枚	123千円
販売促進 のぼり	400枚	423千円
販売促進 横断幕	20枚	136千円
土壌改良剤	128.5ha	2,118千円

・果樹経営安定化対策事業補助金 2,116千円

罹災時の経営安定化と産地維持を図るため、果樹共済への加入を促進する目的で共済掛金の負担軽減を行いました。

JA鳥取中央(東伯地区)	梨	87戸	1,323,476円
	ぶどう	8戸	54,758円
JA鳥取中央(赤碕地区)	梨	89戸	737,397円

・梨公園維持管理事業補助金 60千円

JA鳥取中央が保存整備している梨公園の維持・管理経費を支援しました。

「成果」 町独自で補助したことで、梨生産者の意欲が上がり、生産部の統合にも繋がりました。
「課題」 無し

・農業用廃プラスチック等適正処理促進事業 181千円

農業用廃プラスチック等の町内の山林及び原野等への不法投棄防止と環境保全を図るため、農業廃棄物の処理経費を助成しました。

鳥取中央農業協同組合 61,466円 琴浦町酪農協議会 120,000円

「成果」 農業廃棄物の不法投棄を防ぎました。

「課題」 なし

・中学生農業体験学習事業(東伯中1年生109名) 168千円

野田集落と交流を図りながら、そば栽培農業体験を体験しました。

8月種まき、9月花見、10月質問会、11月収穫、12月そば打ち

・二十世紀梨体験学習支援事業 428千円

(八橋小4年生、東伯小3年生、古布庄小3年生、浦安小4年生、安田小4年生、成美小3年生)

二十世紀梨の栽培体験学習を通じて、果実を作る苦労や収穫の喜びを体験しました。

4月交配、5月摘果・小袋掛け、6月大袋掛け、9月収穫祭、選果場見学

「成果」 実際に農作業を体験し、栽培した農作物を食べることで食育につながりました。

また、地元農家から指導を受けたことにより、地域への関心を深めました。

「課題」 参加校が多くなっているため、実施農園や指導方法の集約などの検討が必要。



○有機栽培家庭菜園促進事業 12千円

町民に野菜栽培のできる場所を提供し、農業に親しむ機会を設けました。
11区画 利用料3,000円/年

「成果」 町民に野菜栽培のできる場所を提供し、農業に親しむ機会を設けました。
「課題」 農園用農地の提供がなくなったため、本事業を継続するかどうかの協議が必要。

○農業経営基盤強化資金利子補給事業 10,238千円

・農業経営基盤強化資金利子助成補助金 10,238,387円
スーパーL資金を借入している認定農業者の利子負担軽減を行いました。
延べ76名。県1/2町1/2

「成果」 資金借入者の利子を負担することで経営安定に寄与しました。
「課題」 県の交付要綱改正に伴い、利子補給期間が5年までとなったため、その後の対応の検討が必要。

○中山間地域等直接支払推進事業 49,926千円

中山間地域の農地を保全するために交付金を交付しました。
対象:29集落協定 対象農用地面積:4,758,931㎡
交付金 48,005千円 推進事務費 1,921千円

「成果」 農業生産には条件不利地である中山間地域の農地保全に寄与しました。
「課題」 中山間地域集落の高齢化が進み、事業の継続が困難となっている。

○農村地域総合推進事業 200千円

町担い手農家及び集落営農組織育成のための担い手育成支援協議会により、研修や経営改善支援を実施し、地域農業推進を図りました。

認定農業者193名(内法人7、共同申請3)
・経営診断指導会 3回
・担い手農家研修(全国担い手サミット) 17名参加
・担い手農家研修 2回

「成果」 経営診断会・担い手研修とも予定通り実施しました。
「課題」 なし

○認定農業者協議会活動 250千円

農業担い手の組織である認定農業者協議会による会員相互の資質の向上・研鑽のための研修事業に対して支援を行い、地域農業リーダーの育成を図りました。

認定農業者協議会会員 193名
・先進活動事例視察 1回 ・農家相互研修 1回
・農業研修、講演会 2回 ・総会、役員会、各部門別研鑽懇談会 8回

「成果」 会員研修等活発に活動が出来ました。
「課題」 なし

○特定野菜供給産地育成価格差補給事業 319千円

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る業務資金(積立金)を負担しました。

「成果」 ブロッコリーの価格差補給を行うことができた。
「課題」 なし

○農林業地域改善対策事業施設の管理 89千円

農林業地域改善対策事業で整備した施設の火災保険料等。対象:13施設。

「成果」 施設を使用する地元の負担を軽減しました。

「課題」 施設を地元へ払い下げるなどの資産処分の推進。

○チャレンジプラン支援事業 3,275千円

意欲のある農業者等が作成した生産・流通等に係るプランの実現に必要な支援を行い、元気な農業者等を育成するとともに、地域農業の振興と活性化を図りました。

・「農業再チャレンジ！梨栽培から施設園芸栽培へ」

パイプハウス整備助成 3,275千円

「成果」 農業者に対し栽培施設整備を支援し、地域農業の振興を図りました。

「課題」 継続して実施状況を把握しておく必要がある。

○農地・水・農村環境保全向上活動支援事業 4,503千円

農地・農業施設等の資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみで効果の高い共同活動への支援を行いました。

平成22年度 協定地区数:16地区

対象農用地面積:田 31,857a、畑9,848a

支援額:田4,400円/10a、畑2,800円/10a



「成果」 事業実施組織に非農家などを取込むことにより、地域ぐるみで農地保全ができました。

「課題」 新規取組地区の拡大推進。

○有害鳥獣対策事業 2,529千円

イノシシ、ヌートリア、カラス等の有害鳥獣から農作物の被害を守るため、電気柵の設置や、有害鳥獣の捕獲等の委託を行いました。

・イノシシ等有害鳥獣捕獲奨励金事業 940千円

イノシシ 69頭(10千円/頭)、ヌートリア 80頭(3千円/頭)、シカ 1頭(10千円/頭)

・有害鳥獣捕獲業務委託事業 540千円

委託先 鳥取県猟友会八橋支部 東伯分会・赤碕分会

・イノシシ等被害防止対策事業 1,049千円

電気柵設置地区 宮木西、中村、赤碕金屋、帽子取、竹内、認定農業者2名

「成果」 継続して取り組むことで成果が上がりました。

「課題」 鳥獣害対策はまだまだ不十分で、特にカラス対策が深刻化している。

○地産地消推進事業 661千円

・地産地消推進事業 351千円

9月11、12日に倉吉パークスクエアで開催された食のみやこ鳥取県フェスタ開催負担金

「成果」 食のみやこ鳥取県フェスタにおいて町の特産品がPRできました。

「課題」 なし

・牛乳消費拡大・食育活動事業 310千円

牛乳の消費拡大を図るための牛乳・乳製品を用いた料理講習会や酪農についての講習会等の取り組みに対し支援しました。

琴浦町酪農協議会 310千円

「成果」 牛乳レシピブックの作成のほか、食農教育の推進が図れました。

「課題」 なし

○就農条件整備事業 6,629千円

新規就農者へ機械購入経費等を助成し、経営の安定を支援しました。

パイプハウス5棟購入助成 3,755,658円

運搬車購入助成 213,500円

全自動野菜移植機、パイプハウス3棟購入助成 2,659,826円

「成果」 新規就農者の就農に必要な機械等の整備に関して支援を行うことができました。

「課題」 なし

○琴浦町農林水産業活性化研究会 1,359千円

農林水産業の活性化・再生化を推進するため、鳥取大学と連携し課題解決と将来のあるべき構想を構築し、地域活力の創造を推進を図りました。

・農林水産業活性化研究会 1回 ・研究会幹事会 3回

・芝結束機の改良研究(鳥大 山名教授) 1,050千円

・鳥大琴浦町連携事業発表会 1回



「成果」 課題解決に向けて各種活動を行いました。

「課題」 課題解決に向けて一定の成果を上げるために組織を拡大してきたが、今後は特定の課題に対応しやすいように組織の規模縮小が必要。

○農業振興地域整備計画統合管理システム事業 504千円

農業振興地域整備計画管理システムを税務情報の更新に伴い、土地情報を更新する。

「成果」 土地情報を更新しました。

「課題」 今後も、より精度の高いものにしてゆく。

○耕作放棄地全体調査事業 1,832千円

国が定めた耕作放棄地全体調査要領に基づき、平成20年度から町内耕作放棄地の調査を実施しました。 新規増加分 17.7ha

「成果」 耕作放棄地の再生につなげることが出来ました。

「課題」 補助事業が無くなる中での活動の継続をどうするか検討が必要。

○次世代鳥取梨産地育成事業 2,030千円

梨産業活性化のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入と、それに伴う生産基盤の整備を支援しました。

・生産基盤整備対策(新植・改植支援、梨棚・網かけ整備、高接ぎ、かん水施設)

新植・改植 559本、高接ぎ 15a、果樹棚整備 15.31a、防風施設10a

「成果」 新品種への切り替え支援を行いました。

「課題」 H23年度から事業名が変わるため、変更内容の周知とこれまでの事業との均衡が必要。

○鳥獣害防止総合対策事業 1,074千円

鳥獣による農作物への被害を軽減するため、イノシシ侵入防止柵を設置しました。

設置地区: 大熊(L=4,200m)

「成果」 広範囲にわたりイノシシの被害防止に効果がありました。

「課題」 被害が侵入防止柵未設置地域に拡大しており、鳥獣害対策を侵入防止から個体数減少へ転換する必要があります。

○新世代梨産地創出事業 5,084千円

新品種の導入に伴い既存品種の改植に取り組んだ梨生産農家に対し、育成経費相当額を奨励金として交付しました。

新植・改植 200千円/10a×246a=4,925千円

高接ぎ 106千円/10a×15a=159千円

「成果」 奨励金の交付により生産農家の意欲を高め、梨産業の活性化を図りました。

「課題」 経過報告を毎年行う必要があり、H23年度からの新事業では4年目と8年目だけの報告であり、事業名による差を感じます。

○二十世紀梨ブランド化事業 15千円

鳥取県梨産業活性化ビジョンの達成のため、9月中旬以降の味がのった旬の二十世紀梨を出荷し、消費者の評価を高めるための誘導施策として、奨励金を交付しました。

事業主体	奨励金額(円)	補助金額(円)	内町補助金額(円)
東伯梨生産部	20,000	13,333	6,667
赤碕果実生産部	3,000	2,000	1,000
計	23,000	15,333	7,667

「成果」 味のよい梨を出荷する農家を支援しました。

「課題」 春の低温で出荷個数が少ないために、9月に回せる玉数が少なかった。

○食コンテスト開催事業 2,225千円

琴浦町の農林水産物の販路開拓のため、大阪外食産業協会と連携し、特産品を食材とした料理コンテストを開催し、産物のPR及び販路拡大の推進を図りました。

- ・食の探訪 9月22日実施。22名が参加。鳥取東伯ミートと梨モデル園を視察。
- ・食コンテスト 10月27日実施。書類審査を通過した7名によりコンテストを実施。食材を肉をメインに乳製品と梨をサブ食材で行う。最優秀賞はさぬきや高橋正樹さんの「琴浦まるごとまるかぶり」に決定。

「成果」 関西地域において琴浦の食材をPRできました。

「課題」 食材として認知してもらったが、関西市場で購入できる食材の情報を伝え販路拡大に繋げる必要がある。入選作品を琴浦町内でいかに商品として活用するか。



○耕作放棄地再生推進事業 771千円

耕作放棄地の解消に向けて、耕作放棄地再生推進協議会が行う再生事業費を助成します。
実施箇所 町内8箇所 310a

「成果」 耕作放棄地の再生事業を実施し、農地を再生しました。

「課題」 再生希望者の少なさと事業実施時期が難しい。

再生前



再生後



○中山間地域コミュニティビジネススタートアップ支援事業 346千円

中山間地域において、地域の課題に対応した広義の社会貢献を伴う地域コミュニティビジネスの取組みを支援しました。

今回は野田営農組合が蕎麦乾燥機庫の建築経費を補助しました。

「成果」 野田地区で実施している蕎麦を用いた活動の課題解決に寄与しました。

「課題」 なし

○就農応援交付金 455千円

新規就農の定着、早期経営安定を図るため、就農後3年間、用途を限定しない交付金を交付しました。

交付対象者 1名（就農2年目） 65千円/月×7ヶ月（H22.9～H23.3）=455千円

「成果」 新規事業であったが、新規就農者の就農支援の一環となりました。

「課題」 なし

○果樹園緊急防除支援事業 693千円

春季の低温により着果不良の梨園に次年度に向けた梨の木の管理に必要な防除費を補助しました。

東伯	1,707a	454千円
赤碕	893a	239千円

「成果」 防除費を補助することにより、梨農家の生産の安定と営農意欲を向上させました。

「課題」 なし

○関西販売促進事業 186千円

関西地域で琴浦町産品を販路拡大するために調査・PR・出展などを行いました。

大阪府門真市で行われた「ふれあい・にぎわい・ラブリーフェスタ2010」に参加しました。

「成果」 県外でのイベントに参加し、琴浦町の産品をPRしました。

「課題」 想定より参加者が多く、PR品が足りなかった。事前に十分な情報確認が必要。

○果樹低温被害緊急対策事業 2,599千円

春季の低温被害により規格外や小玉となった梨で、味が良いものを販売する取り組みを支援するために、選果場の運営経費を助成しました。

赤碕	処理量 50,810kg	補助金額 805千円
東伯	処理量 81,810kg	補助金額 1,794千円

「成果」 市場に出荷できないが、味の良いものを販売する経費を補助しました。

「課題」 なし

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	3 農業振興費(繰越明許)	1,890千円	1,647千円
担当課決算額				1,890千円	1,647千円

○平成21年度雪害園芸施設等復旧対策事業 1,647千円

平成21年12月末の大雪により全半壊した農業施設等の早期復旧を図るため、復旧に要する経費の一部を助成しました。

復旧施設:ハウス2棟 JA鳥取中央 1,647千円

「成果」 復旧経費を助成することにより、営農意欲の維持に繋がりました。

「課題」 なし

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決 算 額
		目	4 畜産業費	12,291千円	12,262千円
担当課決算額				12,291千円	12,262千円

○人件費 6,228千円
一般職 1名

○畜産一般事務 528千円
・鳥取県畜産推進機構負担金 77千円
・肉用牛特別導入事業基金利子積立金 1千円
・県畜産推進機構出資金 450千円

○畜産振興対策事業 2,262千円

家畜個体能力の向上を図るため、飼育管理技術向上のための現地指導会の開催、優良精液の導入による改良への支援、優良和牛への飼育奨励金の交付等を行ないました。

- ・乳牛現地指導 1回
- ・優良精液の導入 和牛 205本、乳牛 400本
- ・優良種牝牛飼育奨励事業補助金交付牛 20頭



「成果」 優秀な改良牛を目指し、飼養者の経営安定につながりました。
「課題」 和牛・乳牛とも全共対策に向け、より改良の努力が必要。

○口蹄疫感染防止対策事業 2,000千円

口蹄疫の発生を予防するため、牛豚等の偶蹄類飼養者に消石灰を配布しました。
・消石灰2,000袋

「成果」 県下でいち早く取り組み、防疫体制の意識が高まりました。
「課題」 近隣諸国で発生が継続しており、予断を許さない状態。

○鳥インフルエンザ感染防止対策事業 1,244千円

鳥インフルエンザを予防するため、鳥飼養者に対し消石灰を配布しました。
また、町内公共施設に消毒マット及び消毒薬を配布しました。
・消石灰500袋 ・消毒マット150枚

「成果」 消毒マットの取り組みは他町にも呼びかけて実施し、効果がありました。
「課題」 野鳥が運んでくるため、冬場の渡り鳥対策をどうするか。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決 算 額
		目	5 農地費	245,677千円	234,904千円
担当課決算額				245,677千円	234,904千円

○人件費 22,001千円
一般職 3名

○農地費一般事務 11,972千円

各種協議会等の負担金

県農業農村整備事業推進協議会会費 3,000円

県土地改良事業団体連合会負担金(一般賦課金)25,000円、(特別賦課金)132,000円

農道台帳管理賦課金 149,000円

農林土木事業利子補給等補助金 11,463,694円

○農業用施設等補修事業 492千円

農道や用排水路等といった農業用施設等の補修維持を行いました。

需用費 23千円

農道水路補修機械借上料 91千円

原材料支給 148千円

急傾斜地作業同造成機購入費 230千円

「成果」 県等の補助事業の対応とならない箇所原材料を助成し、水路や農道を保全し、安全な生活を守りました。

「課題」 地元の自主的な維持管理・補修を促す必要がある。

○しっかり守る農林基盤整備事業 16,008千円

町内農業農村生基盤等の整備を促進し、本町の農業の振興を図りました。

「成果」 水路や農道といった施設を補修し、安全な農村生活を守り、農業生産基盤の補修・更新ができました。

「課題」 他事業との重複を避け、地元が自主的に補修するよう促す。

○県営畑地帯総合土地改良事業 28,825千円

国営事業と連携し、加勢蛇西地区の幹線水路・農道整備事業を支援しました。

・加勢蛇西地区 畑かん用水路、農道整備 測量試験・用地買収費等

うち5,175千円をH23年度へ繰り越し

「成果」 農業基盤整備に伴い、農作物の品質向上及び干ばつ被害を防ぎました。

「課題」 畑かん末端施設の設置率の向上。

○県営広域営農団地農道整備事業(東伯中央地区) 9,564千円

中部地区の産業開発と振興のため広域農道の整備促進を図りました。

22年度事業費321,000千円×6.7%(市町負担)×68.11%(琴浦町負担)÷14,667千円

うち6,103千円をH23年度へ繰り越し

「成果」 広域農道の整備に伴い、農業に関する労力の軽減及び地域間交流の促進増につながりました。

「課題」 当初計画より整備延長が縮小されたため、整備事業の推進及びこれまでの負担金額の再調整が必要。

○県営ほ場整備幹線道路等事業費及利子補給事業債務負担事業 74,427千円

農業基盤整備の充実を図るため土地改良事業等の助成を行い、地元負担を軽減しました。

・赤碕地区畑総事業補助金 23,917,748円

・東伯地区等土地改良事業補助金 48,104,170円

・大栄地区畑かん事業補助金 2,404,717円

「成果」 受益者負担金を町が負担することにより、受益者の負担を軽減する。

「課題」 低利率のものへの借り換えなど、補助金額の減額に向けた検討が必要。

○土地改良事業の推進 60,470千円

農業基盤整備の充実を図るため、赤碕・東伯土地改良区への助成及び国営造成施設の効果的な運営のため東伯地区土地改良区連合への操作委託を行いました。

- ・操作委託 40,751千円
- ・基幹水利施設管理関係 2,308千円
- ・各土地改良区補助等 17,411千円

「成果」 農業者により組織する各土地改良区において農業基盤の維持管理を行いました。国営造成施設を適切に維持・管理し、農業生産基盤の核である水資源を有効に活用しました。

「課題」 将来的に持続可能な運営体制の確立

○国営かんがい排水事業 9,735千円

農業基盤整備を図るため、東伯地区国営かんがい排水事業の円滑な事業推進を図りました。

- ・推進事務関係 363千円
- ・管理体制整備補助金 9,372千円

「成果」 水利施設の多面的機能(防災・環境整備)の充実が図られました

「課題」 非農家を含めた管理体制づくりの促進



○農村振興再生可能エネルギー導入支援事業 1,410千円

農業関連施設に太陽光発電装置を設置し、再生可能な自然エネルギーを取り入れ、維持管理費の軽減を図るためのデータ収集をしました。

「成果」 農村地域の再生可能エネルギー利活用について検討する機会となりました。

「課題」 本町でも再生可能エネルギーの導入について、国等の動向を注視する必要がある。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	5 農地費(繰越明許)		
担当課決算額				10,878千円	10,878千円

○県営畑地帯総合土地改良事業 2,020千円

国営事業と連携し、加勢蛇西地区の幹線水路・農道整備事業費の一部を負担しました。H21年度事業繰越分

○県営広域営農団地農道整備事業(東伯中央地区) 8,858千円

中部地区の産業開発と振興のため広域農道の整備事業費の一部を負担しました。H21年度事業繰越分

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	1 林業総務費	4,296千円	4,285千円
担当課決算額				4,296千円	4,285千円
<p>○人件費 3,687千円 一般職 1名</p> <p>○林業総務一般事務 598千円 ・各種負担金等 国有林土地使用料 7,608円 県緑化推進委員会負担金 36,400円 全国森林環境・水源税創設促進連盟負担金 20,000円 治山林道協会負担金 279,000円 森林設計積算システム賃借料 254,730円</p>					
款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	2 林業振興費	106,844千円	58,751千円
担当課決算額				106,844千円	58,751千円
<p>○森林病虫害等防除事業 10,458千円 松くい虫の被害から松林を守るための予防措置、駆除措置を実施しました。 特別防除:6月に207ha×2回空中散布を実施。 9,796,920円 伐倒駆除:被害木20.17m³の伐倒、薬剤処理。 622,650円</p>  <p>「成果」 松くい虫による被害を最小限にとどめることができました。また、伐倒駆除により次年度の被害量を減らすよう努めました。 「課題」 防除区域の見直しが必要。</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 7,590千円 森林の適切な育成管理推進のため、森林施業準備作業に対し交付金を交付しました。境界確認等の施業準備作業を実施した団地に対して5千円/haを交付しました。対象:21団地 事務費 32,000円 森林整備地域活動支援現地確認委託料 315,000円 森林活動地域支援交付金 7,243,350円</p>  <p>「成果」 山林所有者の森林整備を促進することができました。 「課題」 なし</p> <p>○森林整備促進事業 35,519千円 ・林業再生事業補助金 8,150,000円 鳥取県中部森林組合以西班によるプロセッサー購入 1台 ・森林整備担い手育成対策事業補助金 401,522円 町内林業労働者の社会保障充実を図るため、社会保険等の一部を5年間助成します。 ・竹林整備事業補助金 2,117,196円 竹の抜き切り・皆伐等について補助を行いました。(県9/10補助) ・県緑の産業再生プロジェクト事業補助金 24,850,000円 間伐について25万円/ha補助を行いました。(県10/10補助)</p> <p>「成果」 森林整備や担い手の育成、機械購入に対し支援を行うことができました。 「課題」 町内の未整備森林に対しても働きかけていく必要がある。</p>					

○林業振興対策事業 3,843千円

適正な森林管理推進のため、森林現況調査や担い手対策、間伐促進対策等を実施しました。

- ・森林管理巡視業務委託料 1,480,500 円
町内森林を巡回監視し、施業の必要な箇所の確認等の業務委託
- ・林業労働者福祉向上対策事業負担金 146,141 円
(財)鳥取県林業担い手育成財団への負担金
- ・緊急間伐実施事業費補助金 2,000,000 円
県の間伐材搬出促進補助事業(3,800円/m³)に町が1,000円/m³のかさ上げ。
- ・森林施業計画樹立事業補助金 216,000 円
施業団地の共同化を促進するため、施業計画の樹立、見直しの経費の補助。

「成果」 町内の林業振興に寄与することができました。

「課題」 単町補助事業であるため、内容の精査などの見直しが必要。

○ふれあい交流会館管理運営 785千円

赤碕ふれあい交流会館の管理運営経費。

施設利用者 延べ7,996人

「成果」 赤碕ふれあい交流会館の管理をし、利用促進を図りました。

「課題」 施設使用者の負担額を現行のままとするかどうかの検討が必要。

○とっとり共生の森森林整備事業 556千円

(株)損害保険ジャパン、県、町で協定を締結し、5年間船上山周辺の森林保全活動を実施します。

3年目の22年度は記念植樹や約600本のコナラ等の植樹を行いました。



「成果」 植栽を行い、企業の森林整備に対する関心を強めることができました。

「課題」 企業がより積極的に森林整備を行うよう支援・指導の必要がある。

款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	最終予算額	決算額
		目	1 水産業総務費	2,811千円	2,670千円
担当課決算額				2,811千円	2,670千円

○水産業振興対策事業 2,670千円

水産業の振興を図るため、県事業の負担金抛出、赤碕町漁業協同組合の運営事業の支援、同組合員の償還負担の軽減、共済掛金の負担軽減を支援しました。

- ・県水産業振興対策協議会負担金 43千円
- ・漁業近代化資金利子補給 8件分 利子補給1.0% 45千円
- ・漁村環境改善センター運営費補助金 約1/3の支援 320千円
- ・水産物種苗放流調査事業費補助金 サザエ稚貝60千個 アワビ稚貝15千個 1,435千円
- ・漁業開始資金利子補給 1件分 利子補給2.0% 3千円
- ・漁獲共済掛金軽減事業補助金 23件分 漁家負担分の10% 182千円
- ・漁業振興対策補助金 原油高騰対策事業の漁協負担分の助成 223千円
- ・近場漁場資源増産促進事業補助金 イワガキ付着面再生事業 320千円
- ・漁業緊急保証対策事業補助金 融資信用保証料の一部助成 99千円

「成果」 漁業者の経営安定に一定の効果が見られました。

「課題」 資源の枯渇に対して漁期の設定や育成技術の確立に努力が必要。



【農林水産課】

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	6 緊急雇用創出費	8,932千円	8,927千円
担当課決算額				8,932千円	8,927千円
<p>○緊急雇用創出事業(農林水産課) 8,927千円 作業員を雇用し、農業基盤整備工事および農業用施設等の維持管理を実施しました。 臨時職員賃金(1名) 1,508千円 作業員賃金(3名) 5,336千円 消耗品、燃料費 819千円 機械等借上料 1,226千円 生コン等補修資材原材料費 38千円</p> <p>「成果」 雇用の機会を創出し、また、町内農業用施設のきめ細かな維持管理を実施しました。 「課題」 本事業終了後の維持管理の方法。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	1 現年発生農地災害復旧費	21千円	11千円
担当課決算額				21千円	11千円
<p>○現年発生農地災害復旧事業 11千円 山田地区農地災害復旧工事請負費 10,500円</p> <p>「成果」 平成22年8月豪雨により被災した山田地区の水田の復旧工事を実施し、農業の振興を図りました。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	2 現年発生農業用施設災害復旧費	15,882千円	1,217千円
担当課決算額				15,882千円	1,217千円
<p>○現年発生農業用施設災害復旧事業 1,217千円 山田地区水路災害復旧工事費 1,071千円 復旧延長 10m 工事雑費等 146千円</p> <p>「成果」 平成22年8月豪雨により被災した山田地区の排水路の復旧工事を実施し、農業の振興を図りました。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	4 現年発生林道災害復旧費	1千円	0円
担当課決算額				1千円	0円
○現年発生林道災害復旧事業 H22年度は該当災害なし					

【農林水産課】

款	10 災害復旧費	項	2 豪雪災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	1 豪雪災害復旧費	54,283千円	0円
担当課決算額				54,283千円	0円
<p>○平成22年度雪害園芸施設等復旧対策事業補助金 47,868千円 ○平成22年度雪害漁船等復旧対策事業補助金 6,415千円 H23年度へ全額繰越</p>					
款	12 諸支出金	項	1 諸費	最終予算額	決算額
		目	1 国庫支出金返納金	119千円	119千円
担当課決算額				119千円	119千円
<p>○国庫支出金返納金 119千円 家畜導入事業基金に係る国庫造成額分の返納金 118,153円</p> <p>「成果」 肉用牛を計画的に導入し、肉用牛の資源確保と繁殖農家の経営安定に貢献した。 「課題」 導入農家等からの負担金の速やかな回収。</p>					